



# みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第15号 平成29年9月20日発行

三和地域の人口・世帯数  
男 1,672人  
女 1,751人  
合計 3,423人  
世帯数 1,718世帯  
(平成29年8月末現在)

発行：三和地域協議会  
編集：広報編集委員会

## あなたの家から町内施設へ送迎します —三和地域協議会が公共交通空白地有償運送事業を開始—

三和地域協議会では、三和地域の住民が安心して暮らし続けることができるよう、それぞれの家の玄関先から町域内の主要施設に送迎する、「三和地域公共交通空白地有償運送事業」を10月2日から開始します。

三和地域では国道9号を通る西日本JRバスのほか、昭和61年から旧三和町が運営する「町営バスはぎ号」が運行されてきました。福知山市との合併後も路線は引き継がれ、現在も3路線4系統（細見線、川合大原線、菟原線、友洲支線）の市バスとして運行されています。

現在の路線運行になった平成5年当時は、年間乗客数が5万人を超えていましたが、自家用車の利用伸展、少子化などにより、近年の利用者は2万人を切るころまで減少してきています。福知山高校三和分校生徒が利用する川合大原線を除くと、1人も乗客がない「0人便」が約40%になっています。また一便（片道）あたりの利用者数も、川合大原線を除くと0.5人程度となります。さらに平成31年4月には小中一貫校（仮称）三和学園が発足し、現在の利用者の

約半分を占める小中学生がスクールバスに移行するので、この数値は半減すると見込まれます。

協議会と市役所で協働調査・研究  
三和地域協議会では、発足当初から生活基盤部の課題としてこの「地域交通の確保」問題に取り組み、市役所生活交通課とともに調査研究を進めてきました。市バスの運行状況を調査する中で市バスの運転手等から聞き取りを行ったほか、現在有償運送事業を実施しているNPO法人丹波みわから利用者の状況をヒアリングするなど、住民の移動状況とバス利用の実態について検討を重ねてきました。

また一昨年の11月には、各自治会のご協力のもと65歳以上の高齢者を対象としたアンケートを実施し、利用実態や今後の利用動向について調査をすすめてきたところです。

その結果、  
①バスの利用者は限られた人のみの通院・買い物（月1〜2回）が多い

## 有償運送会員申込について

- 有償運送事業では、会員(利用者)を募集しています。
- ◎会員(利用者)の要件…三和町にお住まいの方なら誰でも会員(利用者)になることができます。
- ◎会員登録料…500円  
(徴収は、新規登録時の1回のみ)
- ◎運行方式…ドアツードア方式  
(自宅から目的地まで直接輸送します)
- ◎利用できる運行区域…三和町内全域  
(※町内での移動に限ります)
- ◎運行日…月～金曜日  
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除きます)
- ◎運行時間…午前8時30分～午後5時
- ◎予約受付方法…利用希望日の2日前までに、利用会員からの電話予約を三和地域協議会が受け付け、運転者と車両を調整のうえ、配車します。
- ◎運賃…距離や利用者の年齢に関係なく、1人1回(片道)の利用で400円の一律運賃です。  
(現金または回数券による車内での精算)
- ◎運送中の事故対応…万一、運送中に交通事故が発生した場合は、三和地域協議会が責任を持って対応しますが、乗車していた利用者や事故の相手方への補償は、それぞれの運送車両の所有者が加入している保険(共済)により対応します。
- ◎申込み方法…利用者本人の印鑑(認印で可)と会員登録料500円を持参し、三和地域協議会の事務所(三和町農業振興センター1階)までお越し下さい。  
お問合せ先…三和地域協議会 ☎0773(58)4130

②バス停が遠い、目的地に行かない、時間が合わないで利用できない  
③自家用車に乗れなくなると、将来は困ると思う人が多い  
④有償運送事業についての将来的な需要は高いなどの状況が明らかになりました。  
これらの成果をもとにしてこれからの交通確保を考えた場合、それぞれのお宅の前から目的地までを自家用車で送迎する、「公共交通空白地有償運送事業」を三和地域内で展開し、通院・買い物、公共機関や公共施設の利用などを確保すべきだとの結論に至ったのです。

## 三和地域での日常生活を守り、諸機能を維持

幸い三和地域の中心である千束地区とその周辺には、市役所支所・保健センター、福祉関係団体の施設及び支所、診療所、農協や信金などの金融機関、スーパーやコンビニ、小中学校の施設があり、日常の生活をまかなうことのできるほとんどの機能が残っています。また、三和荘の利用も可能です。

有償運送事業の制度上、福知山市や綾部市の中心地への運行は困難ですが、その部分は既存のバス路線を利用することとして、三和地域内の移動を便利にすることで、一人暮らしや高齢者世帯も生活していけるようにしていきたいと考えています。また、障害者や要介護者等一定の要件を満たす人は、従来通り社会福祉協議会が運営する「福祉有償運送事業」を利用していただくこととなります。

## 総会で事業承認、10月2日に発車式開催



臨時総会で承認いただきました  
去る9月6日には三和荘で三和地域協議会の臨時総会を開催し、新しい事業の開始と特別会計の設置及び予算案について、出席代議員の全会一致で承認をいただきました。

「公共交通空白地有償運送事業」とはバスやタクシーなどの公共交通が十分にない地域で、NPO法人や社会福祉協議会が地域住民に提供する運送サービス。2006年、道路運送法が改正され、「過疎地有償運送」として制度が始まった。地域の住民などが講習を受けて運転手になり、料金を得て客を運ぶ。2015年4月から現在の名称になった。国土交通省によると、2016年3月末時点で全国で99団体が運行している。三和地域は全域がこの事業の対象地域となる。

「みわひまわりライド」を育ててください  
今回実施する事業は、愛称を「みわひまわりライド」としました。三和地域を毎日巡回する明るいイメージです。  
住民の皆さんにこの事業を積極的に利用いただき、三和地域に残る様々な施設や商店などを利用されることにより、過疎高齢化が進み人口が減少する中でもこれらの施設や機能を守ることに繋がります。

三和地域では若手の農業者が新たに起業したり、移住希望者も福知山市で最も多いなど、まだまだ私たちの知らない魅力や可能性がある地域だと考えます。  
今回始める事業を含め、三和地域協議会は三和を「住み続けられるまち」にしていくため、住民の皆さんと手をつないで歩んでいきたいと考えています。ご理解とご協力を、よろしく願います。

**みわひまわり Ride**  
三和地域協議会  
Tel 0773-58-4130  
**近京公第3号  
有償運送車両**  
この表示のついた車両が走ります

導入モデル事業」補助金が交付されないよう支援していただくことがありません。

# 10周年記念し盛大に開催 みわ夏まつり

8月14日、みわ夏まつりが三和荘で開催されました。太鼓やダンス、ビンゴ大会で盛り上がったあと、今年で10回目ということで、シモンズ田中ゆみさんと仲間たちによる記念特別ステージが行われ、最後に打ち上げ花火があげられました。



シモンズ田中ゆみさんのコンサート



最後はやっぱり花火

ステージ以外にもミニSSLや金魚すくい、スーパーボールすくいといった楽しいコーナーや、冷やしそばやかき氷、ポップコーン、たこ焼き、焼きそばなどの屋台と盛り沢山。開催前は雨もぱらついていましたが、まつりが始まってからは終了まで雨も降らず、2千3百人（主催者発表）のみなさんが楽しい時間を過ごされました。今年もたくさんのご協賛、ありがとうございました。

三和地域の元気をお届けします。三和地域協議会から三和地域の最新情報を発信する『みわを元気に』のコーナーが、FM丹波の午後4時からの番組「七色バラエティ」内でスタートし、第1回が8月23日に放送されました。この番組は月曜、金曜に放送されており、福知山市民や学生が日替わりで出演し、自分たちの活動などについて情報発信するというものです。今回は三和地域協議会についての説明や、みわこどもまつりやみわ夏まつり、三和音頭、みわふれあいカフェについて話を

## 三和地域をアピールする ラジオコーナースタート

しました。終始和やかで楽しい雰囲気が伝わったかなと思います。↑このQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）このコーナーの目的は、三和の楽しい雰囲気をより多くの人に感じてもらうことです。色んな方に出演していただき、いざれば三和地域の住民全員が一度は出たよ、となればいなど夢見ています。みなさん、どうぞよろしくお願います。



9月9日、みわふれあいカフェの2周年記念コンサートが、菟原下の成満寺で開催されました。6時からふれあいカフェがスタートし、ご常連の方や近隣住民の方が遊びに来てくださいました。そして、少し暗くなった7時からコンサート。今回は、二胡・琴・コントラバス・ピアノの四重奏で、二胡は陳曼麗さんにお越しいただきました。成満寺のご住職である木本さんからお寺についてのお話と合掌礼拝をしていただいた後、演奏が始まりました。最初はご住職と息子さんの雅楽演奏から始まり、お寺の雰囲気と音楽が相まって幻想的な空気に包まれました。曲間の陳さんのほっこりしたお話しも楽しく、来場された約85人の方々は、秋の夜の特別な時間を過ごされました。

## みわふれあいカフェ 2周年記念コンサート



ご住職親子も一緒に演奏いただきました



コンサートの様子

三和地域秋の一大イベント、三和ふれあいフェスティバルを今年も開催します。11月11日午後1時～4時は展示発表が三和荘体育館で、11月12日午前10時～午後3時は展示発表に加え、三和荘ホールでステージ発表が、三和荘前駐車で模範店と丹波みわ・コトおこし協議会主催の軽トラ市が同時開催されます。現在は参加者申込を締め切り、模範店・ステージ・展示の各部門会議を行っているところですので、参加団体数については、模範店部門は参加26団体、ステージ部門参加は17団体、展示部門

## 三和音頭 法被完成!! みわの里夏祭り披露：新音源も

### 法被完成

この夏、三和音頭の法被が完成しました！これまで着ていた浴衣の柄を模したものです。男女の別はないので、さっと羽織って踊りに参加していただけます。これを羽織って、一緒に三和音頭を踊りませんか。

### みわの里夏祭り

8月19日開催の「2017みわの里夏祭り」にて、この新しい法被を着て踊りました。ご存知の方はとも少なかったのですが、職員の方など積極的に入って踊ってくださり、少しでも身近に感じていただけたかなと考えています。次の披露は、恒例となった三和ふれあいフェスティバル



みわの里夏祭りにて

ル：の前に、細見小学校の運動会で児童の皆さんに踊っていただきます。（広報紙発行の頃には運動会は終わっていませんが）去年は雨のため披露されませんでしたので、今年こそは、晴れて踊ってもらえたら良いですね。

### 新音源作成

そして、元スアアップした三和音頭の新たな音源を現在作成中です。9月5日には夜久野ふれあいプラザで、唄、三味線、尺八・笛、太鼓の方にお集まりいただき、録音を行いました。現在使用している音源はカセットから読み込んだものなので音質が悪く、聞きづらいものですが、この秋からはこの新たな音源とともに、さらに普及活動を進めていきたいと考えています。CDが完成したら、学校などの他、町内の希望される団体に配布します。詳細は次回のお広報紙でお伝えする予定です。お楽しみに！



出来上がりが待ち遠しいですね

## 三和ふれあいフェスティバル 11/11～12



昨年の様子

参加も18団体です。新規参加の団体もあり、今年も盛り上がるのではと期待しています。また、今年三和中学校が新たな取組を始める予定です。実行委員会としても全力でバックアップしたいと考えています。多くの方のご来場をお待ちしています。

### 編集後記

今年の夏は、暑い暑いと言われています。それでもひどく暑い日も何日かありましたが、気付いたらどんより黒い雲が…という日の方が多かったような…。雨上がりで涼しくなるかと思いきや、湿度が高くて空気がムワッと暑苦しくなったり…。そんなモヤモヤした天気の中でも、金曜は何だか気分が違います。週末だからというのかもしれませんが、「みわふれあいカフェ」が開催されるから、という日でも、サツと準備をして、お揃いのエプロンを着て、さわやかにお客様を迎える、皆さんを見てみると、こちらも背筋が伸びる気持ちです。おうちで咲いた花を摘んできて飾るなど、細かな気配りも忘れない。そんな素敵な方々が開くふれあいカフェが、もっともっとお客様にぎわいますように。